

★今、話題騒然のジャズ・ピアニスト★

片倉真由子【Mayuko Katakura】

1980年生まれ。宮城県仙台市出身。ジャズ・ミュージシャンの両親のもと、幼少よりジャズ・音楽に親しみ、洗足学園短期大学を主席で卒業。奨学金でパークリー音楽大学に入学し卒業。そして、ジュリアード音楽院では「メアリー・ルー・ウィリアムス・ジャズ・コンペティション」で優勝。2006年には「セロニアス・モンク・ジャズ・コンペティション」のセミ・ファイナリストに選出と見事なまでの輝かしい経歴を引っ提げて2008年に帰国～現在、東京都内を中心に活動中の大注目のジャズ・ピアニスト。

2007年にドミニク・ファリナッチの『サウンズ・イン・マイ・ライフ』で初レコーディング～昨年 Juilliard All Stars の『ファースト・スタンダード』に参加。そして、この9月に記念すべき初リーダー・アルバム『インスピレーション』をリリースしたばかりの片倉真由子とのインタビューが実現！ いずれは本場アメリカで活躍することが必然となるだろう彼女の生のピアノを聴くなら今しかない！

(2009年11月11日(水)「ボニー・キャニオン」にて)取材 & 文：加瀬正之



★初リーダー・アルバムがとても話題になっていますね！

自分の音が形になったことは嬉しいですけど、私の音楽人生はこれからずっと長くあるわけですから、その中で作品ができるということは自然なことで、ある日の記録、通過点だと思っています。なので、あまり特別な感情はないんです。ただ、全体を通して自分の色というのは絶対にあるので、それを出したかったというのと、ジャズっていろんなスタイルで分けられることがありますけど、スタイルは関係なくて、自分が今持っているものがあつたかったです。選曲は基本的に私が好きな曲ばかり選んでますけど、自分なりのアレンジで色を付けたり、実際の演奏で色が出てきたり、それは意識しましたね。

★レコーディングのメンバー、中村恭士さん(b)とカール・アレン(ds)について教えて下さい

恭士は私より1年早く入学したので、そういう意味では先輩になりますけど、パークリー時代からずっと仲が良くって、同志ですね！ ずっと一緒に演奏していましたし、彼は本当に素晴らしいベーシストです。カール・アレンは10年くらい前に日本に来た時に演奏を見に行って「ああ、こんなすごい人がいるんだ！」って思って、「今後も自分がCDを作るようなことがあったら、絶対にこの人と一緒にやりたい！ この人と演奏がしたい！」って思ったんです。それが私のひとつの目標でもあったんです。

★レコーディングは順調に進みましたか？

2日間レコーディングがあって、初めてのことでだったのでペース配分が全然分らなかったんですけど、とりあえず1日目にどんどん弾いてって8曲くらいレコーディングしたら、ある時ブツツと切れて、頭から湯気が出そうくらい「ガアッ」ってなって何も考えられなくなってしまったんです(笑)。それで「もう今日はやめよう！」ということになって、ひとまず頭を冷やして、一度冷静になってから2日目に新しい曲を録ったり、前の日に上手いかなかったデイクを録り直したりしたんです。自分の中ではスムーズにいったという感じではなくて、結構煮詰まって、レコーディングが終わった後には何もできなくなっ

ちゃって、ぬけがらみたいでした(笑)。いろいろな意味で、私にとってすごく濃い2日間でしたね(笑)。

★「ブルース・フォー・タイナー」はマッコイ・タイナーに捧げた曲だそうですが、アルバムのオープニングを飾るにふさわしい勢いとパワーが感じられますね

最近はそのほど聴かなくなったんですけど、一時期すごく聴いていましたね。ピアニストで影響を受けて一度はマッコイ・タイナーを通る人は多いと思うんですよ。私もその一人で3~4年くらい前から演奏している曲です。

★「ライジング(ソング・フォー・マイ・ファザー)」はお父さんに捧げた曲ですか？

そうです。私がアメリカに居る時に父の死を知らされたので、ショックで1か月くらいピアノが弾けなかったんです…。でも、学校があつたので休むわけにもいなくて、あの時は結構悲惨でしたね…。暗い状態のまま毎日足を引きずるように学校に通っていました。それで、アルバムのジャケットを撮影した時もずっとこの曲を弾いていたんです。天国にいる父に何かを伝えるように…。私はいつも作曲にすごく時間がかかるんですけど、この曲はバツと一瞬で作れたんです！ 私にとってすごく思い入れのある曲ですね。

【彼女のお母さんはジャズ・ピアニスト。そして、亡くなったお父さんはアルト・サクソ奏者だった…】

★「ポートレート・オブ・フレディ」はピアニストのフレディ・レッドに捧げた曲だそうですね

そうなんです。フレディ・レッドは大好きで、『シェイズ・オブ・レッド』っていうアルバムがあるんですけど、それを何回も聴いて「私もこんな曲が書きたいな」って思っていたんです。だから、この曲はフレディ・レッドをすごく意識して書きました。

★ジャズ・ピアニストとして常に心がけていることは？

まず人に呼ばれるミュージシャンであること。そして、ちゃんと相手の要求にも応えられるピアニストであることですかね。

自分がリーダーであろうがなかろうが、ピアノ・トリオであろうがビッグ・バンドであろうがカルテットであろうがどんなフォーマットで演奏するにしろ、私は自分の役割をやっているだけなので、そういう意味でも職人みたいになりたいですね。

★両親の影響で幼い頃からジャズに親しんだそうですが、お母さん以外で特に影響を受けたピアニストはいますか？

先ほど触れたマッコイ・タイナーやフレディ・レッド以外にも影響を受けたピアニストはたくさんいますけど、元々高校生の頃はハンプトン・ホーズが好きで、家にCDがあったのでいつも聴いていたんです。ハンプトン・ホーズは一番最初好きになったピアニストで、本当に大好きでしたね。

★ジャズ以外に影響を受けた音楽はありますか？

クラシックは習っていましたし、聴くのも好きでしたけど、ロックやポップスとか他の音楽は全然聴かなかったですね。ジャズばかり聴いていました。変わり者みたいですけど…（笑）。

★音楽以外の趣味は何ですか？

読書です！ カバンの中に本が入っていないと不安でしょうがなく（笑）。活字がないと生きていけないんです（笑）。

★洗足学園～パークリー音楽大学～ジュリアード音楽院と卒業されていますが、今振り返ってそれぞれの学校で学んだ経験されたことで一番重要だったことは何ですか？

私は小さい頃からジャズを聴いていたにもかかわらず、ジャズ・ピアノを弾くという事がなかったので、コードも読めなかったですし、セッションもできなかったんです。そういう状態で洗足学園に入ったので、悔しくて「早くみんなと演奏ができるようになりたい！」って思いました。だから、洗足学園は実践の入り口でしたね。講師の方々にもいろんなことを教わりましたし、すごく感謝しています。それで、日本では特に活動しないままパークリーに行って、パークリーではもっと突き詰めて具体的にソロを演奏する時にはどういうスケールがあって、スケールを使ってこういうアプローチがあるとか、クラスもいっぱい取りましたし、知識に関してたくさん学びました。勿論それだけではなくて、いろんな国の人たちが来ていて、いろいろなジャンルの音楽を勉強している人たちがいる所も良かったですね。ジュリアードは少人数でしたし、テクニク的なことは全然教わらなくて、例えばビッグバンドをやっている時は自分はどうあるべきかと、それまでは自分自身のことしか考えていなかったんですけど、バンド全体、音楽全体のこと考えさせられました。ジュリアードではケニー・パロンに習っていたんですけど、ケニー・パロンは日本に居る時からすごく好きで、私がボストンに居る時にジャズ・クラブに来たんです



けど、その時につたない英語で「いつかあなたにピアノを習いたいです！」って言ったんです…それから実際に本人に習えることになりましたけど、人生って分からないですよ（笑）。アメリカってチャンスがいっぱい転がっている国ですからね！

★アメリカでの一番の思い出は何ですか？

一番の思い出は「セロニアス・モンク・ジャズ・コンペティション」の時のみんなの演奏ですね。あの時コンペに参加していた人達は今、みんなワールドワイドに活躍しているんです！あの経験はものすごく大きかったですね。元々私には縁のないものだと思っていたので、全く出る気なんてなかったんですけど、それを薦めてくれたのがカール・アレンだったんです。あそこでみんなに会えたことやみんなの演奏が個性的で楽しかったことに本当に感動しました。本選会場にはパウエル国務長官とかステイシー・ワンダーまで来ていましたからね！今思い出しても興奮してきますし、またあいう体験をしたいです。

★いずれはアメリカで活動したいと思っていますか？

前は学生だったので、今度はちゃんとしたアーティストとして行きたいです。自分がどこまでできるか、自分の音楽が向こうでどのくらい通用するのか試してみたいですね！

★10年後はどうなっていると思いますか？

アメリカで演奏しているといいなっていますね。

★最後に『The Walker's』読者にメッセージをお願いします
いつも聴いてくれたり、見てくれる人たちに本当に感謝していますし、そうやって支えてくれる人たちの存在はとても大きいです。自分を応援してくれる人たちがいる限り、自分の道を突き進みたいと思います。これからも宜しくお願いします！

【片倉真由子のホームページ】 <http://www.mayukokatakura.com>

片倉真由子のサイドでの魅力も聴ける快作！



ファースト・スタンダード
Juilliard All Stars

M&I: MYCJ-30467
¥2,800 (tax in)
Now On Sale!

片倉真由子の記念すべき1stリーダー・アルバム！



インスピレーション
片倉真由子

M&I: MYCJ-30554
¥3,000 (tax in)
Now On Sale!

The Walker's のホームページ内
「Music Store」にレビュー掲載！